

クローズアップ。 日・光・人

日光市で活躍している人、サークルを紹介します。

サークル

人

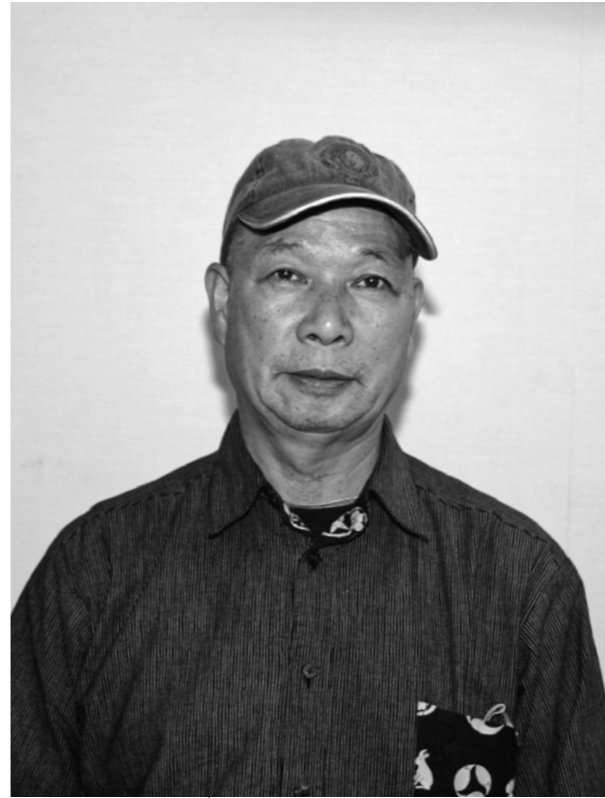
足尾地域の障がい者共同作業所「ほっとみるく」の代表を務めている、佐々木章さんを紹介します。「ほっとみるく」は障がい者の自立を支援するために設立された施設です。現在、7名の通所者が、木工品や手芸品の製作、農園での野菜栽培や燻製づくりに励んでいます。

はじめは、養護学校へ通う子の送迎ボランティアなどをしていたそうです。平成12年に、地域の人たちの協力を得て「ほっとみるく」を設立しました。佐々木さんに、活動していく中で感じたことを聞きました。「実際は、過疎化や運営費の確保などいろいろな問題があります。でも、重い障がいがあっても、日々成長していく姿を見られることが

うれしいんです。純粋な心を持っていて、障がい者から教えられることがたくさんあります。ここが無くなってしまうたら、みんなの居場所も無くなってしまうんです。多少苦労しても続けていきたいです」と答えてくれました。

4月に、作業所が火事で全焼してしまう不幸に見舞われましたが、現在は銅やまなみ館の一角を間借りし、今までどおり活動しています。今後は、廃止になった保育園を改築し、新しい作業所として使用する予定です。最後に佐々木さんは、「この先も『ほっとみるく』が、楽しく作業できる場であり続けることが1番の目標です。そして将来は、市内のほかの作業所と連携し、障がい者が誰でも利用できるケアホームを作りたいですね」と話してくれました。

これからも、明るい笑顔で頑張ってください！



さ さ き あきら
佐々木 章
さん

障がいのある人たちから、たくさんのことを教えられます

足尾町 在住



通所者たちと一緒に作業する佐々木さん。作業所は、笑いの絶えない和やかな雰囲気です。



今市工業高校 科学研究部

大会で優勝できたので、本当にやってよかったですと思っています

省エネ電気自動車レースの全国大会「ワールド・エコノ・ムーブ」のジュニアクラスで2連覇を達成した、今市工業高校科学研究部を紹介します。ワールド・エコノ・ムーブは、電気自動車の実現や、エネルギー問題を考えることを主題とした大会です。参加者は主催者が提供するバッテリーのみをエネルギー源とした電気自動車に乗り、2時間にどれだけ距離を走れるかを競います。

この大会で毎年上位の成績を収めている科学研究部は、現在、部員14人。活動は主に

放課後、校内の実習室で行われます。今回優勝した電気自動車「トキ」の製作や改良もここで行われました。実際に車体を見ると、車高の低さと車内の狭さに驚かされます。限られたエネルギーでできるだけ長距離を走るため、研究に研究を重ねて作られた形です。部長の高木真吾さんは、「授業では学べないことが学べるのでとても楽しい」と話してくれました。

また、県教育委員会が進めるジュニア・キャリアアワードバイザー事業の一環として、今市工業高校では昨年、科学研究部の部員が中心となり、小中学生にバッテリーカーの製作指導を行いました。参加した子どもたちは、日本一の技術を楽しみ



大会当日、車体に乗る田辺将(しょう)さんと見守る部員の皆さん

がらも、真剣に学びました。科学研究部の部員にとっては、日ごろ身に付けた技術を教えることの難しさや楽しさを感じ、コミュニケーション能力をはぐくむなど、多くのものを得る機会となりました。科学研究部は、県内の各種イベントで、バッテリーカーの試乗会を行っています。皆さんも見かけたら、体験してみたいかがですか？

活動データ

活動日 月曜日～金曜日(放課後)
活動拠点 今市工業高等学校実習室
活動内容 電気自動車の製作・試乗会の開催など
顧問 赤羽孝行(あかばな たかゆき)
問い合わせ先 今市工業高等学校 ☎(21) 1127

紹介したい人、サークルを募集します

クローズアップ日・光・人では、日光市で活躍している人、サークルを紹介していきます。このコーナーで紹介したい人やサークルの情報がありましたら、ぜひお寄せください。なお、自薦、他薦は問いません。※広報にこの掲載にふさわしくない活動内容が含まれている場合、紹介をお断りすることがあります。

連絡先及びくわしくは
秘書広報課 広報広聴係
☎(21) 5135